

月刊 GS グラフィックサービス

No.854
2023
01

■ 年頭所感

2023年 新年のご挨拶

—ジャグラ会長 岡本 泰

■ 巻頭企画

IGAS2022見てある記

テーマは「新たなイノベーションへの挑戦」

■ 連載・シリーズ

需要創出を考える②⑥

広島・(株)ニシキプリントさんの事例

■ NEWSとお知らせ

ジャグラ《プチ》作品展 急募!!

—今回は特別に「名刺」もピックアップ審査!!

ジャグラコンテスト マイスター決定!



5

GS

No.854
2023
01

CONTENTS

■ 年頭所感

1 2023年 新年のご挨拶

ジャグラ会長/㈱クイックス(愛知) 岡本 泰

■ 新春企画

2 IGAS2022 見てある記

テーマは「新たなイノベーションへの挑戦」
㈱バリューマシーンインターナショナル 宮本泰夫

■ 連載・シリーズ

26 需要創出を考える②⑥

広島・㈱ニシキプリントさんの事例

■ NEWSとお知らせ

22 ジャグラ<プチ>作品展 急募!!

今年は特別に名刺もピックアップ審査!!

24 ジャグラコンテスト マイスター決定!

Illustratorマイスターに長渡さんと丸山さん
InDesignマイスターに吉野さん

《本コンテストの模様がNHKで放送されます!》



本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 〒103-0001

(一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

月刊 グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

電子版無料公開中!
スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中!
バックナンバー閲覧もここから



<https://www.jagra.or.jp/>



「ジャグラ BB」もご覧ください
経営・教育番組を多数配信中!

jagrabb.net



■ NEWSとお知らせ

10 ジャグラBBホットニュース

12 ジャグラDTPスクールのご案内

16 誌上新春名刺交換会

20 就労継続支援B型事業所を開所 布製品製作事業展開 広島・㈱ニシキプリントさん

23 業界の動き

福岡県支部&青年部が共同セミナー開催
仙台で東北地協幹事会

28 page2023のご案内

14 議事録抄録

29 事務局日誌と今後の予定

11 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)

13 ホリゾン・ジャパン(株)

15 (株)シヨーワ

21 東京リスマチック(株)

表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

2023年 新年のご挨拶

ジャグラ会長 / ㈱クイックス (愛知)

岡本 泰



新年おめでとうございます。年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は6月に3年振りとなるジャグラ文化典をリアルで開催し、第57回定時総会ならびに第一回理事会にて、中村前会長から引き継ぎ、会長職を拝命しました。コロナ禍でまだ感染リスクに不安を持たれる方が多い中、400名を超えるご来賓ならびに賛助会員、そして会員の皆様が愛知に集まり、無事に大会を終えることができました。新執行部のもと、ジャグラは「絆をカタチに 今こそグラフィックサービス業へ転換しよう」をスローガンに掲げ、ジャグラコンパクト DX という新たな事業をスタートし、また既存事業の再活性、再編を経て、精力的に活動を推進しております。

段階的だと予測されていた既存の印刷需要の減少スピードはコロナ禍で急加速しています。追い打ちをかけるようにロシアのウクライナ侵攻による経済制裁や世界の金融施策の影響を受け、9月末に1ドル145円後半まで円安が進み、10月の消費者物価指数は前年同月比で3.6%と40年ぶりの伸び率を記録し、用紙価格、電気代等々の資機材・燃料価格上昇が中小印刷業の利益を圧迫しております。外国人旅行者の受け入れ制限の撤廃をはじめとするコロナ対策の緩和で少しずつ経済活動が回復しており、大手シンクタンク数社が昨年11月に発表した日本経済の見通しでも、緩やかな持ち直し傾向が示されていますが、歯止めの

かからない物価高が内需回復のスピードを鈍化させています。

政府主導の経済対策で既存の印刷需要そのものが大きく戻ることはもうありません。私たち中小印刷業は、自ら新たな仕事を創り出し、社会、顧客に必要とされる業種・業界となっていかなければなりません。今期事業の柱となっているジャグラコンパクト DX 事業では、生産性向上、MIS 研究、地域活性化、業態進化の4つのキーワードのもと、受注から発送までの自動化、どんぶり勘定から脱却するための単品損益管理、GISによる地理的パーソナライズ情報の活用、新たな切り口としての先端デジタルツール研究などを進めています。その根底となるキーワードは「創注」です。“印刷もできる”会社として進化し、会員および賛助会員の皆様と共にグラフィックサービス業全体として新たな需要を強力かつ確実に創造していきます。

会員の皆様ならびに賛助会員、そして関連業界の皆様には本年もさらにジャグラの活動に注目していただき、この業界の未来を共に築いていきましょう!

最後になりますが、今年一年が皆様方にとって意義のある充実した一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

年頭所感



IGAS2022 見てある記

テーマは「新たなイノベーションへの挑戦」

(株)バリューマシーンインターナショナル 取締役副社長 宮本 泰夫

はじめに

昨年11月24～28日の5日間、「Venture into the innovation!～新たなイノベーションへの挑戦～」をメインテーマとして、東京ビッグサイトにてIGAS2022国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展が開催された。コロナ禍の影響により、この3年間は数多くの産業展が中止もしくは延期に追い込まれてきた。そういった状況を鑑みると、今回のIGASがリアル展示会として開催できたことは、大変恵まれたことであったと言えるだろう。

しかしながら、前回2018年と比較して開催規模は縮小した。出展社数は218社（前回は319社）と30%の減少となり、会場となる東京ビッグサイト東館の5ホール（東館は全6ホール）での開催となった。これは海外からの出展社が減少したことが大きな要因であるが、国内出展社についても、印刷産業の縮小化の中で出展を見送る企業が数多くあったことも事実である。また、出展社、来場者ともに影響を受けたのが、会期を6日間から5日間へと短縮し、

それに伴い搬入・設置期間も6日間から5日間に短縮したことである。来場者にとっては、来場機会を失った方も多くいらっしゃるかと聞いているし、出展社にとっては、搬入・設置期間が短縮されることで、大型システムを設置、稼働させることができなくなったとの声が上がっていた。結果として、大型システムの出展構成を変更したり、稼働展示から静態展示への切り替え、さらにはシステムそのものの展示を見送るといった出展社が数多くあったことは事実である。

来場者数は5日間合計で3万3078名であった。前回の来場者数5万5863名とは、開催期間が異なることから直接比較することはできないものの、来場者数だけで見れば大幅に減少したと言わざるを得ない。

一方、曜日ごとの来場者数を前回と比較してみると、見えてくる傾向がある。実は平日の減少率と比較して、休日となる土曜日、日曜日の減少率が大幅に高いのである。ここ数年、働き方改革やワークライフバランスといった言葉が身近になってきたが、多くの企業が休日に業務と関連す

るイベントへの来場を制限しており、そういった背景もこの減少率にはあるのではなかろうか。しかしながら、来場者数が全てではない。出展社にとっては、商談やビジネスにつながる来場者がどれほどいたのか、また来場者の中に、印刷産業や自身の印刷関連業の将来に向けた様々な情報を獲得し、次のステップへとつなげられるキーパーソンがどれほどいたのかが展示会としての成果になるはずである。IGASを通じて、そのメインテーマでもあった「新たなイノベーションへの挑戦」を目指す成果が近い将来見られることを期待したい。

IGAS2022では各出展社のブースに加え、2つの特設ゾーンが設けられた。1つは12社の出展社が共同で、自動化・効率化などをテーマとしたデモンストレーションやセミナーを開催する「Smart Factory IGAS2022」であり、展示会場での共同のシステム展示、期間中26本を超えるセッションが展開された。また、9社が共同で展開したのが「Innovative Business Zone」である。こちらはスモールビジネスエリアとインダストリアルプリントエリアの2つのエリアで、特に中小印刷会社からの来場者に向け、低投資でのスモールスタートビジネスを目指し、小ロット、高付加価値な印刷物を様々な小型加工機を組み合わせることで実演デモが行われた。【写真1a～1c】

規模、来場者は減少したものの、会場でのデモンストレーションなどには多くの来場者が集まり、久しぶりの大型機材展として、出展社、来場者ともに熱気が感じられた。これはIGASが印刷産業から大きな期待を寄せられた結果であると言える。本レポートでは、IGAS2022に見られたトレンドと出展の概要を解説する。

大規模展示会ならではの大型システムの出展

IGASは4年に1度開催の国内最大規模の印刷機材展であり、世界4大印刷機材展の一角を担っている。海外からの出展社は少ないが、特にデジタル印刷システムを手掛けるメーカーには国内企業が多く、大型システムが展示されることも一つの醍醐味である。今回は設置・搬入期間が短縮されたことから、そのラインナップは少ないが、各社のフラッグシップとなる大型システムが展示された。

◎ B2 枚葉デジタル印刷機の競演

枚葉デジタル印刷機はA3ノビサイズからB2サイズへと大型化が進んでおり、インクジェット方式、電子写真方式（トナー方式）のB2枚葉デジタル印刷機の競演となった。

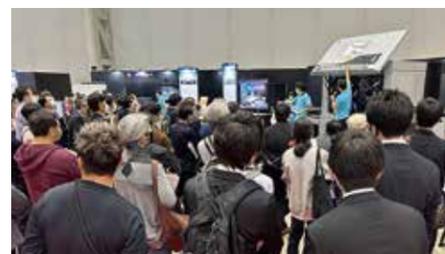
まずはインクジェット方式を見ていく。リコー・ジャパンは、開発中である水性顔料インクを利用したインクジェット方式のB2枚葉デジタル印刷機であるRICOH Pro Z75を実機展示（静態展示）した。実機の展示は世界初である。同機は1200dpiの出力解像度で時間4500シートの出力速度を誇り、国内向けのモデルは四六半裁用紙をサポートすることで、一般のオフセット印刷機同様の面付を利用することが可能となっている。また、富士フイルムは、JetPress 750Sにハイスピードモデルを追加し、実演を行った。同機はすでに海外では出荷が行われているモデルであり、国内では初めての実演となる。出力速度は従来の時間3600シートから5400シートへと高速化が図られている。用紙上へのインクの滲みを防止するインク凝集化技術Rapid Technologyを利用しないことで高速化を図っている。



【1a】 Smart Factory IGAS2022のセッション会場の様子



【1b】 Innovative Business Zoneは全9社で共同開催



【1c】 実機デモンストレーションに集まる多くの来場者



【2a】 リコー・ジャパンのB2枚葉インクジェット印刷機 RICOH Pro Z75



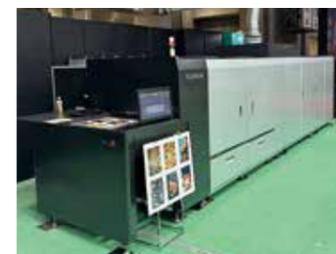
【2b】 富士フイルムの JetPress 750Sには高速化モデルが登場



【2c】 UVインクを利用した AccurioJet KM-1eは高画質化が図られる



【2d】 液体トナーを利用した最新モデル HP Indigo 15K HD



【2e】 富士フイルムの Revoria Press B2 (仮称) は世界初の乾式トナーによるB2枚葉デジタル機



【3a】 片面印刷構成で実機展示された Truepress Jet520HD+



【3b】 ミヤコシはシングルタワーで両面印刷を可能とする MJP20EXG を出展

るため、出力品質は若干下がるものの、実用レベルとしては十分な品質であると言える。コニカミノルタはUVインクを利用した B2 枚葉インクジェット印刷機 AccurioJet KM-1e の高画質化モデルを出展した。物理解像度は 1200dpi のままではあるが、滑らかなグラデーションなどを実現することで品質を高める技術を搭載している。また、UV インクにより幅広い印刷媒体が利用できることも大きな特徴である。

電子写真方式（トナー方式）では、日本 HP が B2 枚葉デジタル印刷機の最新モデルである HP Indigo 15K HD を実現展示した。最大 7 色までの多色印刷を 2400dpi の高解像度で出力可能であり、紙媒体以外にもプラスチック素材やキャンバス素材などへの印刷もできる。また、富士フィルムは世界で初めて、乾式トナー方式を採用した B2 枚葉デジタル印刷機 Revoria Press B2（仮称）を技術展示した。B2XL サイズ（750mm × 662mm）の用紙を時間 2500 シート出力することができる。LED イメージングによる 2400dpi の出力解像度、EA-Eco トナーを利用していることから、印刷品質は Revoria Press と同等であると推察される。しかしながら、乾式トナーを利用する場合、大型化を進める

上で、面内ムラを削減して安定した出力を維持することは難しいと言われており、同社がどのような技術でこうした課題をクリアするのか非常に興味深い。【写真 2a ~ 2e】

◎輪転タイプ（ロール給紙）デジタル印刷機の出展

各社ともインクジェット技術を利用した輪転タイプのデジタル印刷機を保有しているが、IGAS2022 での出展、実機稼働は非常に少ない状況であった。これはすでに述べたように、搬入・設置期間が短いことに起因しており、出展されたシステムも片面印刷システムにとどまった。

SCREEN グラフィックテクノロジーは、1200dpi、オフセットコート紙に直接印刷を可能とする輪転インクジェット印刷機 TruepressJet 520HD+ を片面印刷構成で実機展示した。同機は NIR（近赤外線）ドライヤーを装備し、用紙にダメージを与えることなく、より効率的にインクを乾燥させることができる。ミヤコシはシングルタワーで両面印刷が可能な MJP20EXG を出展した。ロール to ロール構成であれば全長 8m 余りの設置スペースで済み、1200dpi で毎分 80m の印刷速度で両面印刷が可能である。【写真 3a ~ 3b】

◎オフセット印刷機の実演

現在、国内印刷機材展でオフセット印刷機を実機稼働できるのは IGAS のみである。

小森コーポレーションは、展示会場とつくばの小森テクノロジーセンターの 2 拠点で 2 台のオフセット印刷機を実演した。展示会場では、商業印刷向けのデモンストレーションとして、H-UV A 全判反転機能付き 8 色オフセット印刷機 LITHRONE G37P を、同社のワークフローシステムである KP-Connect を通じて稼働させ、SMART AGV を介した様々な後加工システムとの自動連携を行った。また、小森テクノロジーセンターでは、パッケージ印刷市場向けに菊全判 7 色オフセット印刷機 LITHRONE GX40 advance を、プロセスカラー 4 色にオレンジ、グリーンを加えた 6 色印刷で稼働させ、特色領域を効率的に再現するスマートカラーを紹介した。

リョービ MHI グラフィックテクノロジー（RMGT）は、ブース中央に菊全判対応のオフセット印刷機 RMGT970 モデルを展示し実演稼働した。従来の菊全サイズ機と比較して刷版代、電気代、設置スペースを大幅に削減しながら、最高 1 万 5000 回転でワンパス両面即時乾燥を行うことができ、オプションであるスマートアシストプリンティング機能を利用することで、用紙を抜き取らずに複数ジョブのノンストップ印刷が行えるモデルとなっている。【写真 4a ~ 4b】

スマートファクトリー化へのアプローチ

近年の IoT 技術の進展によるシステムのネットワーク化とソフトウェア制御や AI（人工知能）の進展、また少子高齢化による労働人口の減少を背景として、あらゆる製造業において、自動化・省人化・省力化や効率化を目的としたスマートファクトリー化が進んでいる。印刷物の製造プロセスも例外ではなく、入稿からデータ処理、プリプレス、プレス、ポストプレス、さらには梱包、配送といった複雑なプロセスを自動連携、連動させることでスマートファクトリー化を実現するアプローチが数多く提案され実演された。特に Smart Factory IGAS2022 として 12 社の出展社が

共同で行った実演は、様々な印刷製造プロセスが想定されたアプローチとして紹介された。

デジタル印刷システムと加工システムのインライン接続

リコージャパンとホリゾンは、デジタル印刷システムに無線綴じシステムをインライン接続することで、極小ロットの書籍印刷・製本を自動化するシステムを実演した。ホリゾンの無線綴じラインに本身印刷用のモノクロ機と表紙印刷用のカラー機が接続される。ワークフローシステムからの指示により、本身印刷が自動でスタートし、1 冊分の本身印刷が終了するタイミングで表紙が印刷され、無線綴じラインで自動製本が行われる。全ての機器の稼働はワークフローシステムから JDF/JMF により制御され、ページ数やサイズの異なる書籍も 1 冊ずつの可変処理が可能である。

コニカミノルタとホリゾンは、ダイカットシステムをデジタル印刷システムにインライン接続することで、印刷からカット、スタック、帯掛け、排出までの一連のプロセスを自動処理するシステムを出展した。印刷システムと後加工システムの間にはバッファモジュールを接続することで、印刷システムと加工システムの処理速度の差を吸収し、効率的な生産を実現する。コニカミノルタによれば、名刺といった定型・小型印刷物を製造する場合、全ての工程に掛かる人員を 7 名から 3 名程度まで削減することができることである。同様に、カット/スリットシステムをインライン接続したシステムはキヤノンとホリゾンの連携により実演がなされた。

理想科学工業とホリゾンは、デジタル印刷システムの排紙部からロボットアームにより無線綴じ製本機に本身を投入する、ロボット投入無線綴じシステムを展示した。ロボットアームを利用することで、印刷物の回転なども可能となるとともに、インライン接続ではないため印刷システムと製本システムは独立して稼働することが可能となるなど、柔軟な運用が可能となる。

また、ミヤコシは同社の輪転インクジェット印刷機から、



【4a】小森コーポレーション LITHRONE G37P



【4b】RMGT 970 モデル



【5a】リコージャパンとホリゾンによるインライン無線綴じシステム



【5b】コニカミノルタとホリゾンによるインラインダイカットシステム



【5c】キヤノンとホリゾンによるインラインカットシステム



【5d】理想科学工業とホリゾンによるロボット投入無線綴じシステム



【5e】ミヤコシによるインラインバリアブル加工とロボットアーム



【6a】RMGT とホリゾンによる AGV 搬送紙折り機連携システム



【6b】RMGT の AGV である Nipper



【6c】小森コーポレーションブースに配置された後加工システム群



【7a】富士フィルムの Revoria One Production Cockpit



【7b】日本 HP Print 05



【7c】ホリゾンブースに設置されたワークフローエリア



【7d】ダックエンジニアリングはホリゾンの加工システムに検査装置を提供



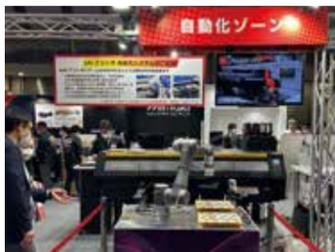
[7e] マイクロテクニカは理想科学工業やミヤコシに検査装置を提供



[7f] ビデオで紹介されたイトーテックの断裁ロボット



[7g] 富士フィルムの紙捌きロボットは欧州では数十台の稼働があるという



[7h] 大判インクジェットに材料を供給するミマキエンジニアリングの協働ロボット



[7i] キヤノンとタクテックが共同出展したゲートアシストシステム



[8a] コニカミノルタのデジタル加飾システム AccurioShine 3600



[8b] デュプロの B2 対応デジタル加飾システム DDC-8000



[8c] KOLBUS の AutoBox は板段ボールから段ボール箱を1枚ずつ切り出す



[8d] 日本製図器工業の半自動貼箱作成システム



[8e] 富士フィルムの圧着トナー・各種セキュリティ印刷サンプル



[8f] エプソンのデジタルラベル印刷システム SurePress L シリーズ



[8g] SCREEN のデジタルラベル印刷システム Truepress Jet L350UV



[8h] コニカミノルタのトナー方式のラベル印刷システム AccurioLabel 400



[8i] SCREEN のパッケージ市場向けデジタル印刷システム Truepress PAC シリーズ



[8j] 高速出力を可能とする Ocean Technology の大判インクジェットシステム



[8k] リコージャパンブースに設置された Future Technology エリア



[9a] 日本 HP の二酸化炭素排出ネットゼロブース



[9b] 富士フィルムもグリーンコンセプトを掲げた展示を実施



[9c] コニカミノルタのカーボンオフセットサービス

インラインでのバリアブル加工システムを実演した。20インチ幅のロール紙に A4 サイズのドキュメントを 2 列で印刷し、スリット・カット・ページ単位でのバリアブルミシン加工を行うことができる。加工後はスタック・帯掛け・ロボットアームによるパレタイズまでを自動で行う。ロボットアームの爪には印刷物に傷を付けない特許技術が搭載されている。【写真 5a ~ 5e】

オフセット印刷機と後加工機の連携

デジタル印刷システムと加工システムはインライン接続が可能であるが、オフセット印刷機とは AGV (搬送ロボット) による連携が数多くデモンストレーションされた。

RMGT とホリゾンは、オフセット印刷機の排紙部から AGV を介して折り機に自動搬送する連携を実演した。RMGT ブースで印刷実演された RMGT970 の排紙部から、RMGT の Nipper が通路を横切ってホリゾンブースに印刷物を自動搬送し、紙折り機に投入すると同時に折り加工がスタートする。IGAS の会場では実演はされなかったものの、折り加工後にロボットアームで自動パレタイズを行い、再度 Nipper が無線綴じ製本ラインに自動搬送するところまでの連携が実現されているとのことである。展示会場の通路を印刷物が自動搬送されるデモンストレーションは世界初であると思われるが、印刷工場においても同様の機能が必要となることは容易に想像でき、自動化の一つのモデルになるものと考えられる。また、小森コーポレーションでも同様に、オフセット印刷機から同社の SLIM AGV によりブース内の後加工システム群に印刷物を自動搬送し、後加工との連携を実現している。

オフセット印刷機も近年は内部にカメラやセンサーを内蔵し、自動化が大幅に進んでいる。刷版を利用する点はデジタル印刷システムとは異なるが、それ以外の部分はほとんどデジタル印刷システムであり、ワークフローシステムを通じた自動プリセットや自動運転などの機能も搭載され始めている。印刷工程のスマートファクトリー化には、オフセット印刷システムも一つの重要なシステムとして組み込まれていくものと考えられる。【写真 6a ~ 6c】

スマートファクトリー化を支える各種周辺技術

表面上は印刷システムや加工システムが自動で稼働するスマートファクトリーであるが、その動作は様々な周辺技術によりもたらされている。IGAS 会場では、そういった

周辺技術の出展も数多く見られた。

まず様々なシステムを自動で稼働させるワークフローシステムが挙げられる。これまで印刷プロセスのワークフローシステムとは、面付やカラーマネジメントなどのデータ処理機能が中心であったが、近年その機能は拡張され、各種システムのリアルタイムモニタリングやデータフローの設計、自動でシステムを稼働させるための電子指示書 (JDF) の発行から各システムの稼働状況の分析まで多岐にわたる。

富士フィルムの Revoria One Production Cockpit は、富士フィルムのスマートファクトリーの中核となるシステムであるとともに、様々なメーカーのシステムを接続することを想定している。また、分析機能を内蔵することで、自動化だけでなく、現状プロセスのボトルネックを見出し、生産プロセスの最適化を目指すものとなっている。また HP の Print OS は、様々な機器をネットワーク化して管理するだけでなく、データ処理やデータフロー設計機能を提供する。同様のシステムとしてコニカミノルタからは Accurio Pro Dashboard が、キヤノンからは PRISMAsync Job Manager が出展され、ホリゾンブースでは、様々な加工システムとの連動を実現する 6 社のワークフローシステムが一同に展示された。

また、自動化されたシステムにおいて検査装置の役割は大きく、展示会場でも検査装置の出展が数多くなされていた。

デジタル印刷システムでは、コニカミノルタのインテリジェント・フォリティ・オプティマイザーやキヤノンのインスペクションユニットなど、内蔵型の検査装置の導入が進んでおり、オペレーションの自動化を実現するとともに、ダックエンジニアリングやマイクロテクニカなどは、印刷システムや加工システムなどにビルトイン可能な検査モジュールを開発し、各社システムへの搭載を進めている。

さらには、すでに AGV として紹介した搬送ロボットやロボットアームシステムを含め、様々なロボティクス技術の開発が進んでいる。イトーテックでは自動断裁ロボットが、富士フィルムでは紙捌きロボットが紹介され、ミマキエンジニアリングでは大判インクジェットプリンタに印刷材料を供給するロボットアームが実演された。単純作業や、高負荷な作業、また精度が要求される作業など、人的リソースの利用と比較して効率的な働きを行うことが可能なロボティクス技術は今後も浸透していくものと考えられる。

一方、オペレータが行う作業の中にも、様々なサポート技術により、その負荷やミスの低減が提案されている。

IGAS LIVE TV YouTube で好評配信中!

昨年の会期中に足を運べなかった読者の皆さんに朗報! IGAS 主催者は YouTube 内に IGAS LIVE TV チャンネルを開設し、解説動画を配信しています。本稿筆者・宮本さんの案内ツアーもご覧いただけますよ! YouTube にて「IGAS LIVE TV」で検索、もしくは右記 QR コードをご利用ください



IGAS LiveTour 51 分

キヤノンがタクテックと共同で出展したゲートアシストシステムは、バーコードを読むことで、投入すべきゲートのみが開く仕組みとなっているもので、マテリアルハンドリングの効率化と正確性を高めるシステムとして注目されている。【写真 7a ~ 7i】

印刷ビジネスと印刷物の高付加価値化

印刷関連事業者にとって、そのビジネスや印刷物などの成果物の高付加価値は大きなテーマとなっている。印刷業の役割は、単に紙にインクを乗せることではなく、顧客にとってどれだけ価値の高い印刷媒体を提供できるか、顧客が満足する効果を提供できるかということにある。ここには営業、マーケティング的なアプローチと、製造面でのアプローチがあるが、本稿では、製造視点での高付加価値化として、大きく2つの出展分野について見ていく。

一つ目は小ロットでの加飾加工や特殊加工の分野である。スポットニス、厚盛加工やフォイル加工といった加飾分野は、これまで小ロットでの提供は難しかったものの、インクジェット技術の利用によってオンデマンドでの対応が可能となり、印刷済みの媒体に付加価値を与える技術として注目されている。

コニカミノルタはニス、厚盛、コールドフォイルに小ロットで対応する AccurioShine 3600 を国内で初展示した。同機は MG1 の技術を利用した加飾加工システムであり、ニス厚が薄膜の場合は、A3 サイズで時間あたり 2000 シートの

高速加工が可能となっている。デュプロは A3 サイズのニス、厚盛加工に対応する DDC-810 に加え、B2 サイズの厚盛から箔加工までに対応した新機種 DDC-8000 を出展した。特殊加工分野については、板段ボールから段ボール箱を1枚ずつ切り出すことができる KOLBUS の AutoBox、貼箱の作成をサポートする日本製図器工業の半自動貼箱作成システムが、小ロットのパッケージ印刷分野で注目される。また、富士フィルムの Revoria Press PC1120 では、特殊トナーとしての圧着トナーと偽造防止用のセキュリティ印刷サンプルが紹介された。デジタル印刷技術の応用により、これまで小ロットで対応することができなかった分野への対応は、今後新たな付加価値分野として期待される。

また、もう一つの分野として、産業用途向けの市場拡大が挙げられる。こちらもキーワードになるのは小ロット、多品種対応ということになるが、各産業分野で利用される特殊基材への印刷や、それぞれの分野での市場ニーズを満たすことで、新たな市場の開拓へとつながられる。

ラベル印刷分野向けには、エプソンの SurePress L シリーズや、SCREEN グラフィックソリューションズの Truepress Jet L350UV など、インクジェット技術を利用したデジタルラベル印刷システムが出展され、コニカミノルタからは電子写真方式のラベル印刷システム AccurioLabel 400 が国内初出展されるとともに、パッケージ印刷市場向けには、SCREEN の Truepress PAC シリーズが紹介された。サイン・ディスプレイ市場や壁紙などの建築材向けには様々な大判インクジェットプリンタが紹介さ

れ、中でも Ocean Technology の Hanway シリーズは時間 800 平方メートルという高速印字を可能としている。またガーメント市場に向けてもデジタル印刷技術の利用が進められている。このような新たな市場への印刷技術の応用は、インクジェット技術の進展に伴い大きく加速してきたことが窺える。リコー ジャパンがブース内に Future Technology を紹介する展示エリアを設置し、将来技術を紹介したように、今後もデジタル印刷技術の進展には注目が集まる。【写真 8a ~ 8k】

展示・訴求内容の変化

IGAS2022 においては、各出展ブースの展示方法や訴求内容にもこれまではなかった変化があった。

まず展示方法については、サステナブルなど企業の社会的責任を訴求する出展が見られるようになった。日本 HP は、ブースのメインテーマとして、脱炭素社会を担うサステナブルなパートナーとなることを掲げたブース展示を行った。二酸化炭素排出量ネットゼロを目指した持続可能な経営を実現することを訴求し、今回のブースでは、出展に際するブース制作や運営についても、リサイクル素材の利用や無駄の削減など、環境への負荷低減を目指している。同様に富士フィルムブースにおいても、メインステージにパレットを利用、展示台もパーツ輸送用の段ボールを活用するなど、廃棄物の削減などを来場者に訴求するブース設計となっていた。またコニカミノルタはカーボンオフセットサービスの提供を開始した。これは同社のシステムを導入した印刷関連事業者に対し、システムの製造から輸送などのサプライチェーンで排出された二酸化炭素を算出し、その分をオフセットして販売することで、環境対応事業者としての訴求を可能とする顧客向けのサービスとなっている。

また、システム展示からソリューション展示への変化も見逃すことはできない。各社ともハード・ソフトや材料といった形あるサービスばかりでなく、様々なソリューションサービスの展示、ユーザ事例を中心とした形のないサービスの展示へとシフトしている。リコー ジャパンのブースコンセプトは RICOH BUSINESS BOOSTER であり、顧客となる印刷関連事業者との真のパートナーとなることを訴求しており、富士フィルムは、同社の分析サービスを通じて最

■筆者プロフィール 宮本泰夫（みやもと やすお）(株)バリューマシーンインターナショナル取締役副社長。1993 年より東洋インキにてデジタル印刷機の技術、アプリケーション開発に携わる。2003 年にバリューマシーンを設立し現職。独立系コンサルタントとして、デジタル印刷を中心とした、基礎技術から、デジタルワークフローや Web-to-Print などビジネス技術面でのコンサルティング、企画・セールス・マーケティング面でのビジネス開発コンサルティングを多数手掛ける。クロスメディアソリューション研究会運営理事、全日本印刷工業組合連合会 印刷営業講座専任講師、日本印刷技術協会（JAGAT）客員研究員、日本グラフィックサービス懇話会顧問、フォーラム印刷研究会講師、情報工学修士。

適生産環境を構築することで持続的な企業成長をサポートすることを表明している。【写真 9a ~ 9c】

おわりに

これまで述べてきたように、4年ぶりに開催された IGAS2022 では様々なシステムやソリューションが展示された。

今回の IGAS のトレンドの一つとしては、「自動化と連携・連動によるスマートファクトリー」が挙げられる。印刷システムや加工システムなどの単体システムのデジタル化だけではなく、入稿、プリプレス処理から印刷、加工を経て、パッキング、出荷までを含めた印刷工程全体において、異なるメーカーのシステムが連携しながら稼働しており、自動化、効率化や省人化といった産業全体の製造面での課題を解決するアプローチが示されている。デジタル印刷機だけでなく、オフセット印刷機からも AGV やロボティクス技術による多彩な連携が実演され、将来の印刷製造工程の一つの形を見ることができたものと考えられる。

そして、もう一つが印刷ビジネスの付加価値を向上させるソリューションである。加飾加工や特殊加工などによる商品としての高付加価値ばかりでなく、顧客のビジネスに寄与することで、顧客のパートナーとなる様々なソリューションが紹介された。出展メーカーの展示内容も、システムや材料だけではなく、どのように利用し、どういった結果を出すかという方向に視点移っていることがわかる。印刷の市場規模が縮小する中で、改めて印刷ビジネスを再定義する時期にきていると見ることができる。

さて、このように各出展社の出展内容は、印刷産業の課題解決に向けた明確なメッセージを出すという目的で大きく変化しているが、一方で来場者となる印刷関連事業者の視点はどうか。印刷産業は装置産業と呼ばれてきたことで、機材展をシステムや材料を見る場と考えてはいないだろうか。展示会で展示される様々なシステムやソリューションはあくまでツールであり、それを何のために、どのように利用し、どういった結果を出すかは印刷関連事業者に課せられた課題であり、その先に印刷産業の将来があるものと考えられる。これを一つの機会として、改めて印刷ビジネスとは何か、産業として何を指すかを考えることを期待したい。

Q Youは何しにIGASへ？ ジャグラ会員に聞きました

広報委員会（本村豪経委員長）は IGAS2022 来場の際に、ジャグラブースにお立ち寄りいただいた会員の皆様を対象に、緊急アンケート調査を実施しました。

「Youは何しにIGASへ？」と題したアンケート調査で、4年に1回のIGASへの来場頻度、来場目的、興味や関心のある製品などについてお聞きしました。来場目的の多くは「最新技術の動向確認」で、やはり情報収集がトップでした。また、これから見学される方の関心では、リコーがトップ、見学済の方の関心では、コニカミノルタがトップでした。

※注：メーカー名は略称表記

Q1 IGAS への来場回数（回答：60 件）

一位「ほぼ毎回」36 票、二位「2～3回」19 票、三位「初めて」5 票

Q2 来場の目的（複数回答可：110 件）

一位「最新技術動向の情報収集」53 票、二位「導入設備の検討」34 票、三位「顧客からの課題解決ヒントの模索」10 票、四位「興味あるセミナー・展示がある」9 票、五位「お付き合いで」4 票

Q3 興味あるブース・製品は？（これから見学の方が対象：37 件）

一位「リコー」4 票、二位「ショーワ」「ハイデルベルグ」「RMGT」「研美社」「オンデマンド機」「加工機」2 票でした。

Q4 印象に残ったブース・製品は？（見学済の方が対象：54 件）

一位「コニカミノルタ」6 票、二位「リコー」「ホリゾン」5 票、四位「富士フィルム」4 票、五位「ショーワ」「小森」「モリサワ」「研美社」3 票でした。

ご協力ありがとうございました

ジャグラBB

JaGra Broadband Contents Service

HOTNEWS

2022年1月号

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

新年も JagraBB でスタート 広報委員会が選ぶ

おすすめ番組ラインナップ!!

スループット座談会
「気づきが多いことに気づくスループット」

スループット座談会
【MIS研究委員会】



カテゴリー > ニュース > ジャグラ情報

なんか数字に縛られて
がんじがらめに
されるんじゃないかという抵抗感が
すごいんじゃないか?



マンガで分かる
「スループット調査票」
【MIS研究委員会】



カテゴリー > ニュース > ジャグラ情報

最新情報はWEBをチェック



ジャグラコンパクトDX
中間報告
(2022.11.11ジャグラ全国協議会より)



カテゴリー > ニュース > ジャグラ情報



SPACE-21
歴代幹事シンポジウム【第2部】
パネリスト:
赤井大祐・池邊寛・鈴木真吾



カテゴリー > ニュース > ジャグラ情報



SPACE-21
歴代幹事シンポジウム【第1部】
パネリスト:
熊谷晴樹・倉沢弘道



カテゴリー > ニュース > ジャグラ情報

5G 5th Generation

第5世代通信技術のこと

- 通信が高速になって便利になることでしょ?
- DXとどんな関係があるの?
- 印刷業とどんな関係があるの?

いまさら聞けない!?
印刷業のDX基礎用語
8) 5G (通信技術) の入門



カテゴリー > 教育と技術 > DX・総務経理・その他



生産性向上のススメ
~JaGra compact DX
生産性向上委員会の取組経過報告~



カテゴリー > ニュース > ジャグラ情報

今回は…

MRの知識

いまさら聞けない!?
印刷業のDX基礎用語
7) MR基礎知識



カテゴリー > 教育と技術 > DX・総務経理・その他

次は…

VRのしくみ

いまさら聞けない!?
印刷業のDX基礎用語
6) VRのしくみ



カテゴリー > 教育と技術 > DX・総務経理・その他

NEVER STOP

印刷の新しい領域に挑み続ける。

印刷の可能性は、デジタルメディアと繋がることで、もっと大きく広がる。一人ひとりに、欲しい情報がタイムリーに届く。それが、あたりまえになる。新しい社会、新しい日常を、印刷の力で創る。そのために、私たちは挑み続ける。

FUJIFILM
Value from Innovation

Chamonix-Mont-Blanc, Rhone-Alpes, France

富士フイルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社



JaGraスクール開講日カレンダー

| 日程 | カテゴリ | 講座名 | 難易度 | ジャグラ会員受講料 |
|---------|-------|----------------------------|-----|--------------------|
| 01月16日月 | DTP | DTP入門 | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 01月17日火 | DTP | Photoshopベーシックトレーニング | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 01月19日木 | Video | Premiere Proベーシックトレーニング | 基本 | 29,700円(通常33,000円) |
| 01月24日火 | DTP | Illustratorベーシックトレーニング | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 01月25日水 | DTP | InDesignベーシックトレーニング | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 02月01日水 | Web | Canvaデザイン入門(バナー作成編) | 基本 | 9,350円(通常11,000円) |
| 02月03日金 | DTP | Illustrator実務必須テクニック | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 02月07日火 | Web | HTML+CSS入門 | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 02月08日水 | Video | ゼロから学ぶ映像制作実習講座 | 基本 | 18,700円(通常22,000円) |
| 02月09日木 | Video | Premiere Proベーシックトレーニング | 基本 | 29,700円(通常33,000円) |
| 02月14日火 | DTP | InDesign実務必須テクニック(2日間) | 応用 | 35,200円(通常41,800円) |
| 02月15日水 | | | | |
| 02月22日水 | Web | Canvaデザイン応用(チラシ作成編) | 応用 | 9,350円(通常11,000円) |
| 02月28日火 | 電子文書 | Acrobat Pro DC PDFフォームの基本 | 基本 | 14,850円(通常16,500円) |
| 03月01日水 | DTP | Photoshopベーシックトレーニング | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 03月02日木 | Video | ゼロから学ぶ映像制作実習講座 | 基本 | 18,700円(通常22,000円) |
| 03月03日金 | DTP | Illustratorベーシックトレーニング | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 03月07日火 | DTP | InDesignベーシックトレーニング | 基本 | 17,600円(通常20,900円) |
| 03月09日木 | Video | Premiere Proベーシックトレーニング | 基本 | 29,700円(通常33,000円) |
| 03月10日金 | Web | HTML+CSS実務必須テクニック | 応用 | 18,700円(通常22,000円) |
| 03月14日火 | DTP | Illustrator実践講座～作図・描画編 | 応用 | 17,600円(通常20,900円) |
| 03月16日木 | Video | Premiere Proステップアップ講座 | 応用 | 29,700円(通常33,000円) |
| 03月22日水 | Video | After Effectsベーシックトレーニング | 基本 | 30,800円(通常34,100円) |
| 03月23日木 | DTP | Illustrator実践講座～文字組み・レイアウト | 応用 | 17,600円(通常20,900円) |
| 03月24日金 | DTP | Lightroomベーシックトレーニング | 基本 | 18,700円(通常22,000円) |
| 03月28日火 | DTP | Photoshop実務必須テクニック(2日間) | 応用 | 35,200円(通常41,800円) |
| 03月29日水 | | | | |

スクール
ウェブサイトの
ご案内

JaGraスクールのウェブサイトでは、カリキュラム詳細、講座受講前のスキルチェック、担当講師からのメッセージやテキストのサンプルPDF、授業の様子を撮影した動画など、詳しい情報を掲載しています。ぜひご確認ください！
講座受講のお申し込みも、JaGraスクールのウェブサイトです。

URL <https://www.jagra.or.jp/school/>



Horizon Change the focus

～ つながる Factory Automation ～
省人化・省力化を実現する先進的なシステムをご提案します。

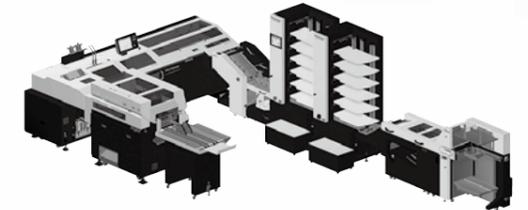
■ ロール紙対応中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark V

ロール紙の巻き出しスピードを落とさずに
最高 6,000 冊 / 時の高生産性を実現



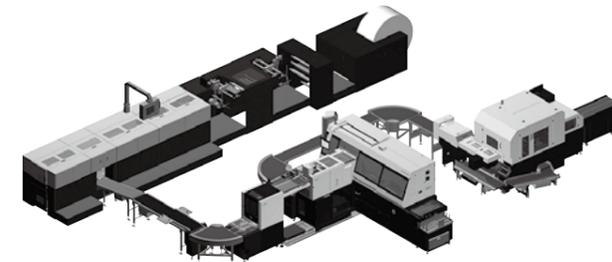
■ ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

多品種少量生産に対応するために
全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮



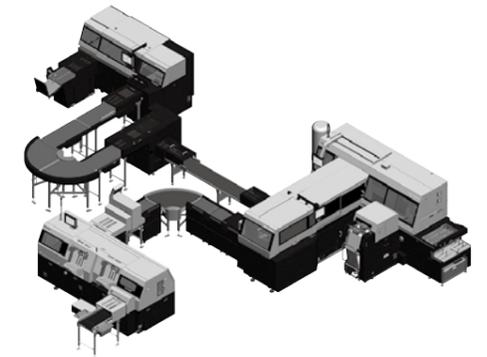
■ ロール紙対応無線綴じシステム

多品種・パリアブル生産における高い生産能力と安定した品質で
製本物の生産を効率化します



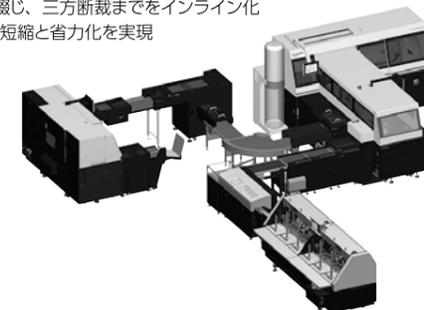
■ 下固製本システム

本身に見返しを貼り付けと寒冷紗を使用した
上製本の下固工程の自動化を実現



■ 極少・中ロット向け無線綴じシステム

折丁給紙、無線綴じ、三方断裁までをインライン化
セット替え時間の短縮と省力化を実現



■ 紙ファイルメーカー

脱プラスチックに貢献する
紙ファイル作製システムのご提案



fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
 東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
 京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
 福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
 仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

11.11 第58年度第5回理事会を開催

全国協議会のスケジュールなどを確認

ジャグらは11月11日、同日午後より開催する全国協議会に先立ち、東京ドームホテルにおいて第58年度第5回理事会を開催した。

×

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件

省略（巻末スケジュールご参照ください）

《検討の経緯》 他に発言はなく満場一致で承認した。

第二号議案 全国協議会スケジュール

全国協議会のスケジュールについて確認した。（省略）

《検討の経緯》 他に発言はなく満場一致で承認した。

第三号議案 事業と役割分担に関する件

令和4～5年度の事業と役員の分担について報告した。（総会資料および本誌既報にて省略）

《検討の経緯》 他に発言はなく満場一致で承認した。

第四号議案 地協活動支援金規定について

ジャグらは地方協議会の活動を推進するため、活動支援金（上限10万円/年）を予算化しているが、その規定について下記のとおり改訂したい。

◎「第7条本規程の改廃は、総務委員会にて行う。」

→「第7条本規程の改廃は、正副会長会議にて行う。」

《検討の経緯》 他に発言はなく満場一致で承認した。

※伊東理事より、現在、四国地協のみ申請があり交付した。あらかじめ予算を組んでいるので他の地協でもぜひ活用して欲しい旨、説明があった。

第五号議案 事業報告に関する件

4月～同日までの事業報告を書面で報告した。（総会資料および本誌にて都度報告しているので詳細省略）

第六号議案 その他に関する件

1) 高知大会について

森孝理事と坂本圭一朗実行委員長が進捗状況について説明を行った。座談会、勉強会を組む予定で将来に繋がる大会にした。多くの方に参加いただきたいとの報告があった。

2) IGAS2022 について

11月24～28日まで東京ビッグサイトで印刷機材展 IGAS が開催される。岡副会長が中心となり出展の準備を行っている。日印産連がブースを構え、その中にジャグら、スクリーン、シール、製本など5団体で15小間をシェアする。情報交換の場としてまた、会員拡大の場として、文化ビジネスサービス（東京・港支部）にブースの構築を依頼している。場所が一番奥になるので、多くの人に来場してもらい盛り上げたい。

3) 組織拡大パンフレット

会員増強のためのパンフレットを作成した。文字を減らしてジャグらの親しみやすさや楽しさを表現している。ジャグらのHPからダウンロードできるので、活用してもらいたい。

×

最後に木原庸裕監事より「社業が傾いている会員が増えている。ジャグらの存在意義は会員が存続するための支援をすること。会員企業にとって大事なことは、様々な経営課題の解決に繋がるヒントを持ち帰れる、相談できる仲間がいるということ。これらを念頭において運営を心掛けて欲しい。」との監事総括があった。

以上で全ての議案の審議を終了、閉めの挨拶は中島博副会長が行った。

以上

●出席理事・監事（ネット出席含む）

会 長 岡本泰
副 会 長 熊谷晴樹、中島博、原田大輔、神山明彦、池邊寛
専務理事 田中良平
理 事 渡辺辰美、伊東邦彦、高橋亮太、尾形文貴、樋具浩久、齋藤秀勝、鈴木将人、稲満信祐、中村盟、中村耀、笹井靖夫、武川優、黒沢康憲、谷川聡、杉本浩康、松下忠、宮崎真、山本康彦、森孝、本村豪経

監 事 菅原正行、木原庸裕
臨 席 高知県支部長・坂本圭一朗

●欠席理事・監事

副 会 長 岡達也
理 事 笹岡誠
監 事 前沢寿博

【利害関係はなく、理事の離席はなかった】



ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

○研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
○会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

2023

誌上新春名刺交換会

新年おめでとうございます 誌上新春名刺交換会

| | | | | |
|--|------------------------|--|---|--|
|  イランカラファテ 〒070-0033 旭川市3条通4丁目右1号 TEL 0166-262388 FAX 0166-262398 | ジャグラー北海道支部 支部長 渡辺辰美 | ジャグラー東北地方協議会 会長 熊谷晴樹 〒980-0821 仙台市青葉区春日町八番二四号 TEL 022-723222 FAX 022-723223 | ジャグラー中国地方協議会 会長 山本康彦 会員一同 〒745-0043 山口県周南市都路3の1 TEL 0834-722000 FAX 0834-722004 | ジャグラー宮城県支部 支部長 大橋邦弘 副支部長 高橋正人 〒980-0821 仙台市青葉区春日町八番二四号 TEL 022-722000 FAX 022-722002 |
|--|------------------------|--|---|--|

| | | | |
|---|--|--|--|
| ジャグラー新潟県支部 支部長 平田大輔 会員一同 〒950-0084 新潟市中央区明石1の7の20 TEL 025-2473245 FAX 025-2478491 | ジャグラー千葉県支部 支部長 尾形文貴 〒261-0002 千葉市美浜区新港213の5 TEL 043-2424849 FAX 043-2427239 | ジャグラー神奈川県支部 支部長 露木貴弘 〒250-0055 神奈川県小田原市久野3014 TEL 0465-069800 FAX 0465-069801 | ジャグラー栃木県支部 支部長 高橋亮太 〒321-1421 栃木県日光市所野1-22の1883 TEL 0286-112233 FAX 0286-112241 |
|---|--|--|--|

第58回定時総会 第65回ジャグラー文化典式典 高知大会

揺れる！沸き立つ！ ジャグラーグラグラ〜

令和5年6月10日(土) 9日(金) ゴルフ大会・おきゃく(前夜祭)・その他
 会場: ホテル三翠園 10日(土) 定時総会・文化典・大おきゃく(懇親会)・その他
 11日(日) 日帰りツアー

コミュニケーション・テクノロジー追求により、
顧客ビジネスの発展に貢献する

Info. + Design

「情報」と「デザイン」の融合により、最適なメディアの選定から
効果測定まで、お客様の真のビジネスパートナーを目指します。

販促支援サービス | マニュアルサービス | 教育機関支援サービス | P&Dサービス

株式会社 **クワイックス** <http://www.kwix.co.jp>

■本社
〒448-0025 愛知県刈谷市幸町2-2 TEL 0566-24-5511 FAX 0566-26-0200
代表取締役社長 岡本 泰

株式会社グッドクロス
代表取締役 原田大輔
〒141-0031
東京都品川区西五反田8の2の2
TEL 03-6422088
FAX 03-6422089

株式会社カミヤマ
代表取締役 神山明彦
〒451-0042
名古屋市西区那古野1の21の14
TEL 052-566511
FAX 052-566514

ジャグラー愛知県支部
支部長 鈴置誠
会員一同
〒448-0044
愛知県刈谷市池田町5の2003
TEL 0566-211841
FAX 0566-090801

2024年は広島大会
よろしくお祈りします

ジャグラー広島県支部会員
宮崎 真
〒733-0833
広島市西区南工業センター17の5033
TEL 082-2776954
FAX 082-2776944

NS PRINT & POSTPRESS
DESIGNからでも 印刷からでも もちろん製本も

謹賀新年

令和5年2月
菊全判対応UV印刷機
(4色片面・2色両面兼用機)
導入予定

NS印刷製本株式会社 代表取締役会長 中村 耀
代表取締役社長 中村 中
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町568
TEL 03-3203-5421 FAX 03-5273-0527
URL <http://www.ns-p.co.jp>

株式会社エデンメディアワークス
代表取締役 池邊寛
〒870-0937
大分県大分市南津留8の1
TEL 097-555838
FAX 097-555834

創文印刷出版株式会社
代表取締役 熊谷晴樹
〒980-0821
仙台市青葉区春日町8の334
TEL 022-722000
FAX 022-722001

株式会社 中島プリント商会
代表取締役 中島博
〒371-0024
前橋市表町二丁目番5号
TEL 027-433448
FAX 027-433449

ジャグラー大阪府支部
大阪府グラフィックサービス協同組合
理事長 岡達也
会員一同
〒541-0048
大阪市中央区瓦町1の6の10
TEL 06-69912222
FAX 06-69912222

株式会社 北斗プリント社
代表取締役 西川大祐
〒606-8540
京都市左京区下鴨高木町38の2
TEL 075-7916125
FAX 075-7917290

株式会社 ウイング
代表取締役社長 松下忠
〒640-8411
和歌山県和歌山市権取17の2
TEL 073-455000
FAX 073-455002

共立速記印刷株式会社
代表取締役会長 吉岡 新
代表取締役社長 笹井靖夫
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-24
PHONE.03-3234-5511(代) FAX.03-3263-2740

企画・印刷・製本・グッズ制作
株式会社 緑陽社
 代表取締役 **武川 優**
 〒183-0033 東京都府中市分府町3-58の1
 TEL042(355)19000
 FAX042(355)19001
 メール info@ryokuyou.co.jp

代表取締役社長 **鈴木 将人**
株式会社 東京技術協会
 〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目1-16
 銀座アスタービル4F
 電話 03(352)6741
 FAX 03(352)6745

東京グラフィックス港支部
 支部長 **稲満 信祐**
 〒140-0002 東京都品川区東品川1-17の2
 (株)イナミック印刷内
 TEL03(347)6010
 FAX03(347)60345

ECO SCRATCH
 削りカスが出ない
エコスクラッチ
 ご注文承ります

交友印刷株式会社

FUJIFILM Value from Innovation
 富士フイルムグローバルシステム株式会社
 代表取締役社長 **山田 周一郎**
 〒106-0001 東京都港区赤坂九丁目七番三号
 TEL03(627)5111(代)

FUJIFILM Value from Innovation
富士フイルム ビジネスイノベーション株式会社
 執行役員 事業本部長 **木田 裕士**
 〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目七番三号
 TEL03(627)5111(代)

代表取締役社長 **羽鳥 雅孝**
株式会社 ムサシ
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-20の36
 TEL03(554)7718
 FAX03(554)7718

代表取締役社長 **森澤 彰彦**
株式会社 モリサワ
 〒556-0011 大阪市浪速区敷津東二丁目二五
 電話 06-6491-2151

iMedia
 アイメディア株式会社
 代表取締役 **本村 一和**
 専務取締役 **本村 豪経**
 人と人、心と心...
 新しいコミュニケーションを創造します。
 〒810-0075 福岡市中央区港2-11-8
 TEL(092)721-0769 : FAX(092)741-5120
 Mail : info@i-media.co.jp

代表取締役 **佐藤 徳幸**
トーバン印刷株式会社
 〒029-0803 岩手県一関市千厩町
 千厩字神ノ田30の9
 TEL019(22)2445
 FAX019(22)4230

代表取締役社長 **岡本 泰誠**
鈴置印刷株式会社
 〒448-0044 愛知県刈谷市池田町5-203
 TEL0566(21)1841
 FAX0566(26)0060

代表取締役 **熊谷 正司**
 専務取締役 **熊谷 健司**
株式会社 熊くまがい印刷
 〒101-0001 秋田市中通6-4の21
 TEL018(833)6220
 FAX018(833)6732

RMGT リョービMHI
 グラフィックテクノロジー株式会社
 代表取締役社長 **広川 勝士**
 〒726-0002 広島県府中市鞆町800-2
 Tel.(0847)40-1600 Fax.(0847)40-1601
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

株式会社 大塚商会
 代表取締役社長 **大塚 裕司**
 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋 2-18-4
 Tel.03-3264-7111

代表取締役 **岡澤 誠**
有限会社 中溝グラフィック
 〒210-0846 川崎市川崎区小田五丁目一七
 電話 044(333)2787
 FAX 044(333)7787

代表取締役 **清水 隆司**
倉敷印刷株式会社
 〒130-0013 東京都墨田区錦糸4-16の17
 TEL03(666)0091
 FAX03(666)0092

代表取締役社長 **岩下 登**
株式会社 登プリント社
 〒577-0808 大阪府堺市東区1-14の14
 TEL06(773)8788
 FAX06(773)3321

代表取締役 **伊藤 文雄**
有限会社 小池印刷
 〒380-0936 長野市御所3
 TEL026(22)6219
 FAX026(22)6084

代表取締役 **須田 徹**
コパミノルージャパン株式会社
 プロダクションプリント事業部
 〒105-0035 東京都港区芝浦1-1の1
 TEL03(633)9061
 FAX03(633)1111

代表取締役社長 **木村 和広**
リコー ジャパン株式会社
 社長執行役員
 〒105-0053 東京都港区芝3-8の2
 TEL03(666)4800
 FAX03(666)4806

代表取締役社長 **有賀 賢一**
 Kenichi Aruga
株式会社 SCREEN GP ジャパン
 〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目1-1
 ヤマタネ深川1号館
 TEL 03-5621-8266
 FAX 03-5621-8378
www.screen.co.jp/ga

代表取締役社長 **岡本 勝弘**
日本アグファ・ゲバルト株式会社
 〒161-0016 東京都品川区大崎1-6-1
 大崎ニューシティビル1号館5階
 03-5487-8253

代表取締役社長 **荒川 壮一**
 取締役会長 **荒川 幹夫**
株式会社 荒川印刷
 〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目16の38
 TEL052(262)10006
 FAX052(262)22696

代表取締役社長 **長場 敬太**
株式会社 NIK-PC
 創業100周年に向けて
 〒101-0065 東京都千代田区西神田二丁目7ノハ
 電話 03(326)6211
 FAX 03(326)6211

代表取締役社長 **廣瀬 智**
日経印刷株式会社
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-15-5
 TEL 03(6758)1001 FAX 03(3263)5814
<https://www.nik-prt.co.jp>

代表取締役社長 **宮崎 進**
ホリゾン・ジャパン株式会社
 〒101-0031 千代田区東神田2-4-5
 TEL03(386)5536
 FAX03(386)5530

KODAK
SONORA
 CAN PRINT THAT
 お客様の経営パートナーに
コダック ジャパン <https://www.kodak.com/ja>
 〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285

JAY CO.JP **株式会社 ジェイエンタープライズ**
 印刷機、関連紙工機械高価現金買取
 代表取締役社長 **パラケルスニッシュ**
 携帯:090-4008-6374
 TEL:03-5706-5100(代) FAX:03-5706-5101
 ホームページ: www.jay.co.jp
 E-mail: sunish@jay.co.jp
 本社 / 〒158-0091 東京都世田谷区中町2-39-1
 倉庫 / 〒339-0076 さいたま市岩槻区平林寺368

ニシキプリントさんが就労継続支援B型事業所を開所

「ワークサポートひなた」で布製品製作事業展開

広島県支部のニシキプリント（宮崎真社長）さんは、1月1日、広島県の認可を受け、東広島市に就労継続支援B型事業所^{*1}「ワークサポートひなた」（以下「ひなた」）を開所しました。

×

同社は昭和42年の創業以来、障がい者雇用に積極的に取り組んでおり、平成24年に（一社）東広島自立支援センターあゆみ（以下「あゆみ」）を設立し、A型事業所^{*2}を運営しています。デジタル化などによる印刷離れが加速度的に進むなか、自社の障がい者雇用に進化発展させつつ企業としての持続性を維持するため、リコージャパンの協力のもと、ひなたに布印刷プリンター「RICOH Ri 2000」を導入し、今後需要拡大が見込まれる布印刷分野へ進出することとなりました。

布印刷の工程には、機械化の難しい手作業が多くあり、ひなたでの作業を利用者が行うことで障がい者の就労訓練の場が確保され、ひなたの布製品をユーザーが購入することでエシカル消費の拡大に繋がります。ひなたは、利用者、そしてユーザーを含む、関わる人全てが繋がりが支えあ



「はたらく・つながる・ささえあう」社会貢献ビジネスモデルを目指しています。

「RICOH Ri 2000」は布地のセッティングを簡単に素早く行えるよう、機器本体のテーブルが、布地の厚さに応じて最適な高さで自動で昇降する機能を有します。また、専用のメンテナンスキットを取り付けるだけで、本体ヘッド部分を自動でクリーニングできるなど高いユーザービリティで、障がいを持つ方の布製品の製作をサポートします。さらに、プリンターでの印刷事例や検証結果のデータを活用し、今後のユーザービリティの継続的な改善と、複雑な作業工程の自動化を推進します。

※1「就労継続支援B型事業所」とは、一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行っている事業所。A型とは違い雇用契約を結ばず、給与ではなく工賃を支払う。

※2「就労継続支援A型事業所」とは、一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約の締結等による就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行う事業所。雇用契約を結ぶので、最低賃金以上の給与を支払う。



リコーのガーメント（衣服）プリンター「RICOH Ri 2000」
詳細は下記
<https://www.ricoh.co.jp/garment/ri-2000/>



就労継続支援B型事業所
「ワークサポートひなた」の外観

あなたの会社を守る ジャグラーグループ保険

特長1 掛金が割安です（例：30歳男性、1口277円/月）

特長2 死亡時保障額は最高1600万円

特長3 事故による入院もワイドに保障

特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます

特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラー事務局まで **Tel.03-3667-2271**



TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日（月～金）9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
http://www.lithmatic.net

今回は特別に名刺もピックアップ審査!!
会長特別賞として表彰も予定しています!

ジャグラ作品展

サイズ・素材・アイデア・インパクト・ユニーク度 どんな名刺で挑むのか?!

NAME CARD FESTIVAL

名刺祭

たかが名刺とあなどるな
名刺も立派な作品だ!!

これならイケるぜ!

各社のアイデア名刺作品大募集!

もちろんジャグラ作品展全ての部門で作品お待ちしております!

出版印刷物部門

単行本、文芸書、教科書、学術参考書、専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、定期刊行物、複製版など。

宣伝印刷物部門

カタログ、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR誌、各種案内書など。

業務用印刷物部門

研究報告書、文集、記念誌、機関誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、大会等資料、会報、年報、リスト、パーソナルユース(年賀状、レターヘッド、ハガキ、**名刺**)など。

開発・開拓部門

新商品、新機器・新手法・新技法による作品、販促成功例、活路開拓・需要拡大商品、未来ビジネスへの足掛かり商品、自社企画による印刷物、印刷物以外の商品、間接的に生産された印刷物、ソフト・サービス CD-ROM 等のマルチメディア。

2023

応募期間 **3/31金**まで

募集対象：2022 年中に完成した作品
応募締切：2023 年 3 月 31 日(金) 必着

〈応募方法・申込書〉

応募作品に申込書を添えて、本部までご送付ください。送料は応募社負担となります。申込書 (Word 文書) を HP よりダウンロードしてください。

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 ニッケイビル 7F



ジャグラ作品展委員会

NEWS

業界の動き

ジャグラ

11.18 「インボイス」「電子帳簿保存法改正」
をテーマに共同でセミナー開催
福岡県支部 & 青年部・玄青会

昨年 11 月 18 日、福岡市博多区のリファレンス駅東会議室で、福岡県支部と青年部・玄青会が共同でセミナーを開催しました。

×

当日はリコージャパン(株)およびピー・シー・エー(株)から講師をお招きし、「インボイス」「電子帳簿保存法の改正のポイント」をテーマにお話しいただきました。

コロナ禍の影響で、昨今の会合はオンライン開催が多い中、久しぶりにリアルにセミナーを開催し、会員 9 名に出席いただきました。

「インボイス」や「電子帳簿保存法の改正」は、誰に相談していいかもわからずに未対応のままだった会員さんもいらっしゃいましたので、タイムリーなセミナーだったと思います。具体的なツール等の紹介もいただき、今から対応する会員さんも安心されたと思います。私自身も、今回のセミナーで「インボイス」や「電子帳簿保存法の改正」の内容がクリアになり、有益なセミナーであったと感じました。今後も会員の皆様にとって有益なセミナーを開催していきたいと考えています。

(寄稿：玄青会・早川慎平会長)



福岡県支部と玄青会 共同セミナーの様子

ジャグラ

12.2 仙台で東北地協幹事会をリアル開催
補助金セミナーも好評
東北地協

昨年 12 月 2 日、東北地協(熊谷晴樹地協会長)の幹事会が久しぶりにリアルで開催されました。

×

幹事会では各支部活動報告のほかに、11 月に開催された全国協議会の報告をもとに、支部を活性化するために地協ができることを話し合いました。答えは簡単には出ませんが、いつも支部で一生懸命活動している幹事たちが一堂に会し、各々の悩みや課題を共有するだけで意味のある時間だったと思います。

今回の幹事会では、ゲスト講師に東北地区印刷協議会会長・針生英一氏(宮城県印刷工業組合理事長)をお招きし、「時代の転換期に際し、補助金制度を活用して未来への投資を積極的に行なおう」と題したセミナーを開催しました。

◎セミナー要旨(抜粋)

- ①『護送船団式』から『やる気のある中小企業を応援する』施策への転換を図った今、補助金活用は『やる気があるかどうか』を測る大切なバロメータ。
 - ②補助金を利用したことのある企業はわずか 5%。
 - ③補助金申請のなかで必然的に SWOT 分析をすることになり、自社の課題や進むべき方向が具体的に見えてくる。
- 東北地協は昔から県工組と距離が近く、支部の中には合同で行政へ陳情に行ったり新年会を開催しているところもあります。宮城県は行事に来賓として呼び合う程度の付き合いでしたが、今後は歩調を合わせ協力できる範囲を拡大していこうと考えています。

(寄稿：東北地協事務局・大橋邦弘さん / 宮城県支部長)

短 信

◎昨年 11 月 17 日の日経新聞朝刊・文化欄に、NPO 法人日本自費出版ネットワークの活動が紹介され、「自費出版は生きた証し〜優秀作に光当てる賞を創設し四半世紀、製作の普及活動も」とのタイトルで、同ネットワーク・川井信良共同代表のインタビュー記事が掲載されました。10 月には時事通信の取材を受け、全国にその活動が配信されたとのこと(神戸新聞などに掲載)。

第6回 ジャグラコンテスト マイスター決定!

3代目 Illustratorマイスターに
長渡洋介さんと丸山綾香さん



6代目 InDesignマイスターに
吉野章さん



ジャグラ主催、ジャグラコンテスト委員会（池邊寛副会長＝担当理事、笹岡誠委員長）が運営するDTPオペレーター技能競技会「ジャグラコンテスト第6回 Illustrator・InDesign」の第2次審査実技試験が昨年10月29日、ジャグラ本部で実施され、Illustrator部門は(株)ながと（宮崎）の長渡洋介さんと(株)谷印刷（石川）の丸山綾香さんが同点1位、InDesign部門は吉野章さん（会員外）が、それぞれ総合1位に輝きました。



挨拶する池邊副会長



詳細は特設サイトで <https://www.jagra-contest.com/>

今回のジャグラコンテスト2次審査実技試験は、コロナ禍による2度の開催中止を経て、3年ぶりのリアル開催となりました。当日は、第一次審査を突破したIllustrator8名、InDesign7名のファイナリストが全国から集結し、Illustratorは不動産チラシ制作課題1問（100点満点）、

InDesignはジャグラBBのQRコード表制作課題1問（100点満点）が出題され、下記の結果となりました。第1位表彰式は6月10日のジャグラ高知大会にて執り行われる予定です。

Illustrator 競技

| | | | |
|-----|-----------------|-------|-------------------|
| 第1位 | 260点 (183点+77点) | 長渡 洋介 | (株)ながと / 宮崎 |
| 第1位 | 260点 (176点+84点) | 丸山 綾香 | (株)谷印刷 / 石川 |
| 第3位 | 232点 (177点+55点) | 遠藤 利恵 | (株)東北プリント / 宮城 |
| 第4位 | 214点 (166点+48点) | 中島 一也 | (株)北斗プリント社 / 京都 |
| 第5位 | 209点 (167点+42点) | 後藤 宏幸 | 共立速記印刷(株) / 東京・文京 |

InDesign 競技

| | | | |
|-----|-----------------|-------|----------------|
| 第1位 | 274点 (180点+94点) | 吉野 章 | 会員外 |
| 第2位 | 267点 (172点+95点) | 高橋 綾佳 | 亜細亜印刷(株) / 会員外 |
| 第3位 | 265点 (184点+81点) | 中道 恭子 | 会員外 |
| 第4位 | 252点 (180点+72点) | 奥瀬 隆史 | トーバン印刷(株) / 岩手 |
| 第5位 | 243点 (171点+72点) | 細田 理恵 | (株)ウィザップ / 新潟 |

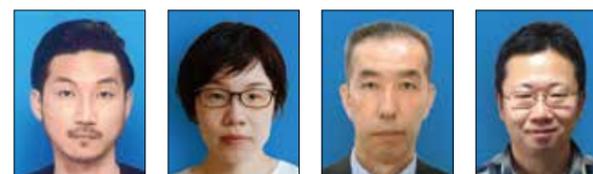
昨年10月29日、ジャグラ本部にてジャグラコンテストの2次審査実技試験を開催!



Illustrator 2次審査ファイナリスト (1次審査得点順)

| | | | |
|----|-------|-------------|-------|
| 1位 | 長渡 洋介 | (株)ながと | 宮崎 |
| 2位 | 遠藤 利恵 | (株)東北プリント | 宮城 |
| 3位 | 丸山 綾香 | (株)谷印刷 | 石川 |
| 4位 | 後藤 宏幸 | 共立速記印刷(株) | 東京・文京 |
| 5位 | 中島 一也 | (株)北斗プリント社 | 京都 |
| 6位 | 細田 理恵 | (株)ウィザップ | 新潟 |
| 7位 | 阿久澤有沙 | ネットトヨタ群馬(株) | 会員外 |
| 9位 | 岡崎 里志 | 共立速記印刷(株) | 東京・文京 |

※第2次審査対象者（第1次審査7位以内入賞者）のうち1名辞退があったため、9位入賞者が繰り上げ参加となりました



長渡 洋介 丸山 綾香 後藤 宏幸 中島 一也



細田 理恵 阿久澤有沙 岡崎 里志



InDesign 2次審査ファイナリスト (1次審査得点順)

| | | |
|----|-------|-----------------|
| 1位 | 中道 恭子 | 会員外 |
| 2位 | 後藤 宏幸 | 共立速記印刷(株) 東京・文京 |
| 2位 | 吉野 章 | 会員外 |
| 2位 | 奥瀬 隆史 | トーバン印刷(株) 岩手 |
| 6位 | 藤田 隆弘 | (株)東京技術協会 東京・港 |
| 8位 | 高橋 綾佳 | 亜細亜印刷(株) 会員外 |
| 9位 | 細田 理恵 | (株)ウィザップ 新潟 |

※第2次審査対象者（第1次審査7位以内入賞者）のうち2名辞退があったため、8位、9位入賞者が繰り上げ参加となりました



中道 恭子 後藤 宏幸 吉野 章 藤田 隆弘



高橋 綾佳 細田 理恵

敬称略
希望者のみ
顔写真掲載

本コンテストの様子がNHKで放送されます!

コンテストのIllustrator第2次審査実技試験が、NHKテレビ番組「ニッポン知らなかつた選手権 実況中!」に取り上げられました。本番組は、企業や業界団体等で人知れず開催されているコンテストに潜入し、実況解説を行うバラエティー番組です。

実技試験当日は、会場のいたるところにテレビカメラが設置され、ジャグラコンテスト出場者の皆さんのプロフェッショナルなDTPオペレーションのワザを余すことなく撮影していただきました! これまで2次審査で出題された課題内容、採点基準は非公開でしたが、今回の放送では、問題作成者が出題の意図や各参加者の評価ポイントを徹底解説します。

また、神奈川県支部の(株)野毛印刷社さんに撮影協力いただき、DTPオペレーターの仕事とはどのようなものかを紹介する映像も放送されます。今回のテレビ放送をきっかけに、DTPオペレーターという仕事の奥深さを多くの視聴者の方に知っていただけることを期待しています。

番組はNHK総合で火曜午後11時から。放送日が確定次第メルマガでお知らせします!



シリーズ 需要創出 を考える ②6

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラー会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探るシリーズ。今回は令和3年度ジャグラー作品展受賞企業の中から、広島県支部の㈱ニシキプリントさんの事例をご紹介します。

令和3年度

事例 27 ジャグラー作品展 / 業務用印刷物部門 全国中小企業団体中央会会長賞

『GAKUIN2019, 2020』

重たいアルバムから洗練された写真集へ、そして印刷の先の課題解決のお手伝いも

㈱ニシキプリント(広島) 代表取締役 宮崎 真



既存のビジネスモデル脱却を目指す 3つの改革を実践中

令和3年度ジャグラー作品展において、弊社が出品した「GAKUIN2019, 2020」が業務用印刷物部門 全国中小企業団体中央会会長賞を受賞いたしました。このたびの受賞は、平成29年度の出版印刷物部門で経済産業省商務情報政策局長賞をいただいた広島カープの写真集以来であり、社員一同大変喜んでおります。

弊社は昭和42年の創業時より「書籍造りのニシキプリント」を掲げる、文字ものを中心とした軽印刷を主業務とする印刷会社です。創業時より障がい者雇用に力を入れており、平成24年には一般社団法人東広島自立支援センターあゆみを設立し2か所の就労継続支援A型事業所を運営しており、障がい者雇用と仕事の多角化を進めております。また平成27年には、「広島のいいモノ・いいコトを発信する」をコンセプトに、広島の魅力発信をお手伝いするECサイト「安芸ん堂」を開設しました。

足かけ3年にも及ぶコロナ禍のあおりを受け、印刷業界を取り巻く環境は急速に悪化しています。弊社も例外ではなく、従来のビジネスモデルからの脱却が喫緊の課題です。そこで弊社では、以下の3つの改革に取り組んでおります。

- ①従来の印刷物の価値の見直し(付加価値ある商品の提供)
- ②地域の独自性を発信する商品の開発
- ③エシカル消費*拡大につながる商品の展開

まだまだ改革の道は途上ですが、このたびの受賞は①の取り組みを評価いただいたものと考えております。

*編集注) 論理的消費。消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。SDGsのうち、特にゴール12に関連する取り組みである。

重たくかさばるアルバムを、手に取りやすく洗練された写真集に

「GAKUIN2019, 2020」は、広島市内にある私立中高一貫男子校の広島学院中学校・高等学校様が毎年発行されているイヤーズブックです。多くの学校で製作されている卒業アルバムと同じように年間行事写真や卒業生個人写真が掲載されていますが、卒業年度の生徒だけでなくその年に在籍する6学年分の生徒写真が掲載されており、生徒は在学中6年間6冊分のイヤーズブックを受け取ります。これまでのイヤーズブックは教職員がネット印刷を利用しアルバム製本の体裁で製作していましたが、アルバム6冊ともなると大変かさばり保管が大変であること、また教職員による印刷データの準備に手間がかかるうえネット印刷では校正がないため納品後に写真の重複やミスに気付くといった問題点もあり、このまま継続して製作することに校内から疑問の声が出ていたそうです。

実は広島学院中学校・高等学校様とはこれまでほとんど取引実績がなかったのですが、新規受注開拓で営業訪問した際にイヤーズブックのお話を聞き、まずは製本形式の変更をご提案しました。現状のアルバム製本は厚く重たく、6冊ともなると場所も取ります。そこで、サイズはそのまま並製本の形にしてはどうか、と提案いたしました。アルバム製本から並製本に変えることで従来のイヤーズブックに比べ安っぽい印象を与えてしまうことは何としても避けたいという先生方の意見を尊重し、表紙や見返しの用紙にこだわり、特徴的な質感を持つ五感紙を選択しました。

表紙やカバーのデザインについては、6冊のイヤーズブックが本棚に並ぶことを想定し発行年ごとに異なるカバー色を選定、またカバーそのものを幅の広い帯のようなイメージにして、シンプルなデザインの表紙絵柄と調和し立体的

な仕上がりになるように心がけました。

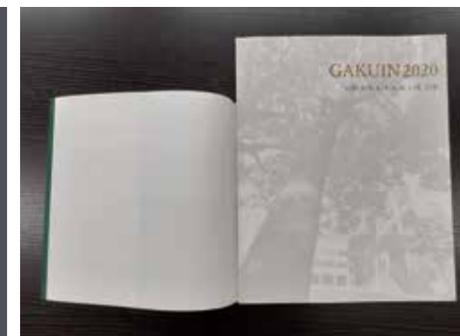
紙面構成に関しても、学校で撮影した写真データを行事ごとにある程度厳選・整理して入稿いただいたうえで、弊社内で割付校正を作成するとともに写真や文字のチェックを行いました。これにより、印刷データの準備から作成・手配まですべて行っていた教職員の手間が省けたうえに良質なイヤーズブックを完成させることができ、任意購入でこれまであまり申し込みがなかった教職員からも多くの注文が寄せられたとのことでした。

また、このイヤーズブックの製作期間は、新型コロナウイルス感染症拡大により学校行事の実施が制限されていた時期でもありました。学校行事は大幅縮小、なんとか実施しても保護者を学校内に入れることができず無観客……イヤーズブックの校正打ち合わせ時にも、ままたらぬ現状を嘆く先生方の声を何度もお聞きしました。そこで弊社から提案したのが、無観客で実施する体育祭の様子を撮影・編集したDVDを保護者に販売してはどうかというものでした。幸い弊社は「広島のいいモノ・いいコトを発信する」をコンセプトにしたECサイト「安芸ん堂」を運営しており、この販売決済システムを活用することで、DVDの製作だけでなく注文販売まで受託することも可能であることを提案いたしました。販売を受託したのは2021年度のみでしたが、注文申し込みから発送まで一貫して弊社で行うことで、学校側の注文管理や金銭授受の手間を省きつつ保護者のニーズに応えることができ、学校からも保護者からも大変好評をいただきました。

印刷だけでなく、その先の課題解決と「エシカル消費」につながる製品開発へ

イヤーズブックのように、印刷物をただ製作するだけでは、仮にその印刷物作成について一から提案作業があったとしても、これまでの「書籍造り」の範囲を越えるものではありません。しかし体育祭DVDの製作ならびに販売請負は、印刷の先にあるお客様の課題解決に貢献する取り組みです。この度の広島学院中学校・高等学校様の取り組みが端緒、というわけではありませんが、弊社における従来のビジネスモデルからの脱却という意味で大きな一歩になったのは間違いありません。

先に述べた3つの改革は、試行錯誤を重ねつつ現在も積極的に取り組んでいます。2022年11月には、弊社の得意先でもある広島大学様からイベント企画の相談があり、エシカル消費につながる布製品の展示販売企画を実施いたしました。これは、大学祭と同日開催される広島大学ホームカミングデーのパビリオン企画を検討していた広島大学校友会学生チームの、「広大生と卒業生・地域・企業との架け橋になり、それぞれの強みを生かした『新たな化学反応』を生み出したい!」という思いを受け、弊社の障がい者雇用・地域貢献のなかで“化学反応”させる取り組みとして実現したものです。「エシカル消費をもっと身近に、社会とつながる楽しさを始めよう」をテーマに学生や福祉事業所の方がデザインした布製品を展示販売し、大学のアカデミックな知を学内外に発信すると同時に障がい者雇用を創出し地域に貢献するエシカル消費を意識してもらうことを



【受賞作】広島学院中学校・高等学校様「GAKUIN2019, 2020」

- ◎サイズ：300 × 240 mm
カバーの天地サイズは226 mm
- ◎表紙・カバー：五感紙 ナチュラル
細目 4/6判 155K
- ◎見返し：NT ラシャ 4/6判 100K
色は2019と2020で異なる
- ◎本文：シルバーダイヤS
4/6判 90K 44ページ



目指したブースは、当日多くの来場者で賑わいました。
 2023年1月、弊社は就労継続支援B型事業所を開所し、地域の活性化や雇用創出につながる布製品事業をスタートする予定です。広島大学様の企画は、事業スタートに先駆け布製品事業をPRすると同時に布製品の購入が障がい者雇用の維持に貢献するエシカル消費につながることをアピールするもので、弊社が取り組んでいる3つの改革の③にあたります。次年度はこの取り組みが評価され再びジャグラー作品展に入賞できるよう、全社、またグループ法人一丸となって取り組んでまいります。



弊社HP (左 <https://www.nishiki-p.co.jp/>) と ECサイト「安芸ん堂」(右 <https://www.akin-do.com/>)

JAGAT 主催

印刷展“page2023”のご案内
2.1~2.3 東京・池袋 サンシャインシティにて

今回で36回目を迎える印刷・メディアビジネスの総合イベント“page2023”が2月初旬に開催されます。

◎開催概要

- 日程：2023年2月1日(水)～2月3日(金) 10:00～17:00
- 会場：サンシャインシティ (池袋)
- 主催：(公社)日本印刷技術協会/後援：経済産業省ほか
- 規模：出展者 125社 460小間 (page2022実績)
- 来場者：印刷業、印刷関連業、印刷資機材メーカー、広告代理店・出版社の経営・管理・製造・営業、生産管理・編集・制作・デザイナー、印刷発注者となる企業の宣伝広告担当、購買担当

詳細は公式サイトで
<https://page.jagat.or.jp/>



事務局日誌と
今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

2022年12月の事務局日誌

- 1日 DTP 教室運営委員会 (Web 会議)
- 2日 正副会長会議 (Web 会議)、地域活性化委員会 (大分)
- 5日 P マーク現地審査 (大分)
- 6日 作品展委員会 (Web 会議)、広報委員会 (Web 会議)
- 7日 MIS 研究委員会 (Web 会議)
- 8日 業態進化委員会 (Web 会議)
- 9日 P マーク現地審査 (千葉)
- 12日 生産性向上委員会 (本部)
- 13日 P マーク現地審査 (東京)
- 14日 生産性向上・MIS 研究委員会合同 ホリゾン見学会 (滋賀)
- 15日 プライバシーマーク審査会・個人情報保護委員会
- 16日 サステナブル委員会 (Web 会議)
- 20日 日印産連知財部会 (Web 会議)、日印産連臨時専務理事会議 (印刷会館) →田中専務、P マーク現地審査 (福岡)
- 22日 委員長会議 (Web 会議)、ジャグラーコンテスト委員会 (Web 会議)
- 29日 事務局仕事納め

2023年1月のスケジュール

- 6日 理事会 (本部+ Web 会議)、日印産連新年交歓会(The Okura Tokyo) →岡本会長ほか
- 7日 ジャグラー福岡県支部新年会 (アークロイヤル博多天神)
- 11日 MIS 研究委員会 (Web 会議)、広報委員会 (Web 会議)
- 12日 業態進化委員会 (Web 会議)、OGS 新年互例会 (ウェスティンホテル大阪)
- 13日 作品展委員会 (Web 会議)
- 16日 東京グラフィックス新年会 (東天紅)
- 19日 日印機工年始会 (東京プリンスホテル) →岡本会長・田中専務、ジャグラー愛知新年集会 (THE KAWABUN NAGOYA) →岡本会長
- 20日 ジャグラーコンテスト委員会、ジャグラー福島・福島工組合同新年会 (ウェディングエルティ)、ジャグラー岩手・岩手工組合同新年会 (アートホテル盛岡) →岡本会長、ジャグラー千葉・千葉工組合同新年会 (京成ホテルミラマーレ) →田中専務
- 21日 北陸地協総会・新年会 (富山) →岡本会長・田中専務、中国地協新年会 (広島) →岡本副会長
- 25日 DTP 教室運営委員会 (Web 会議)
- 26日 日印産連ステアリングコミッティ (印刷会館) →岡本会長・田中専務、P マーク現地審査 (京都)
- 27日 九地協新年互例会 (大分)、ジャグラー神奈川新年会 (菜香新館) →岡本会長、ジャグラー宮城新年会 (宮城) →田中専務

2月のスケジュール

- 1日 page2023 開会式 (池袋サンシャインシティ) →岡本会長
- 2日 正副会長会議 (本部)
- 3日 P マーク現地審査 (宮城)
- 8日 MIS 研究委員会 (Web 会議)、JIPDEC 審査 (事務局)
- 11日 SPACE-21 全国キャラバン in 石川、四国地協理事会 (香川) →岡本会長
- 13日 P マーク審査会・個人情報保護委員会 (本部)
- 14日 年賀状デザインコンテスト委員会 (本部)
- 16日 委員長会議 (Web 会議)
- 17日 じゃばこうむ 2022 (印刷会館)
- 21日 業態進化委員会 (本部)
- 24日 DTP 教室運営委員会 (本部)

事・務・局・便・り

新年おめでとうございます。皆様はどのようにお正月を過ごしましたか？ 帰省された方も多いことと思いますが、私は実家から1時間ほどの距離に住んでいるため、毎年日帰りで実家に顔を見せに行く程度、あとはひたすら自宅でぐたら過ごしています。ところで、主人の実家付近では、年末のイベントとして「みそかっぱらい(晦日祓い)」なるものが行われるそうです。みそかっぱらいでは、大晦日の厄除けとして、割りばしのような祓い串と呼ばれるものを地面に刺すことで家の中の災いを外に出すのだそうですが、知らない間に自分の敷地内に祓い串を刺されることがあるらしく、発見したらすぐさま串を抜き、気づかれぬよう、よそ様の敷地に串を刺す……という「串刺しバトル」が粛々と繰り広げられるそうです(笑)。皆様の地元でも、年末年始に行われる変わった風習がありましたら、お聞きしてみたいです。(N.A)

※「事務局便り」は本部事務局職員が交替で執筆しています

月刊「グラフィックサービス」854号

■発行日 令和5年1月10日(毎月1回)
 ■発行人 岡本 泰
 ■編集人 本村 豪経
 ■発行所
 一般社団法人
 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラー
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
 ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラーは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画：ジャグラー広報委員会

担当理事
 神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長
 委員長
 本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事

委員
 東海林正豊 秋田/(株)東海林印刷
 谷山 和也 東京/菁文堂(株)
 野口 聡 東京/(株)アクティブ
 小澤孝一郎 山梨/(株)オズプリンティング
 安達 睦男 大分/(株)舞鶴刊版
 潮尾 淳 広島/(株)広瀬印刷
 高宮 健司 高知/(株)三宮印刷
 佐藤 愛子 大分/(株)クリエイツ
 田中 良平 専務理事
 影山 史枝 外部委員/(株)スイッチ
 藤尾 泰一 外部委員/(株)インフォ・ディー

◎原稿・編集・校正
 田中 良平 並木 清乃 阿部奈津子
 今田 豪 長島 安雄 豊島 智晴
 長野未奈美 以上、ジャグラー事務局
 藤尾 泰一/(株)インフォ・ディー / 広報委員
 日経印刷(株)/校正のみ

◎渉外 田中 良平 並木 清乃
 ◎広告 豊島 智晴
 ◎Web 阿部奈津子
 ◎動画 今田 豪

◎組版/デザイン (株)インフォ・ディー
 DTP = Adobe CS6/CC ほか
 フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版/印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)
 RIP = 大日本スクリーン Trueflow
 CTP = 富士フイルム XP-1310R
 刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
 インキ = DIC
 用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
 ※本誌はFSC森林認証紙(管理された供給源からの原材料で作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>

Copyright 2023 JaGra

禁無断引用
 ※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 原則、TM や®マークは省略しています
 ※乱丁/落丁本はお取り替えいたします

RMGT 970 が あなたの SDGs を アシスト Assist

“誰一人取り残さない”社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もそのニーズに応えることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。



人に優しい

ワンボタン操作で楽々印刷の
スマートアシストプリンティングで人に優しい



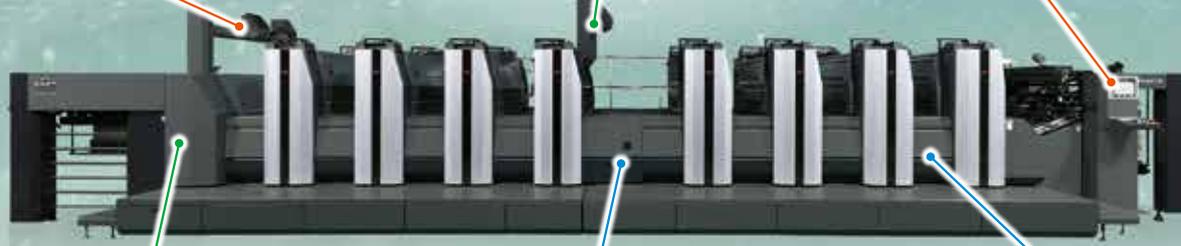
地球に優しい

品検・濃度・見当調整をインラインで行い
損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい



経営に優しい

アイコンやグラフを使った誰にでも解りやすい
グラフィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な
LED-UV で地球に優しい

短納期に対応できる
ワンパス両面印刷で経営に優しい

刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる
菊全判ジャストサイズだから経営に優しい



リョービ MHI
グラフィックテクノロジー株式会社